平成26年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月10日

上場会社名　アウンコンサルティング株式会社　　上場取引所　東
コード番号　2459　URL　http://www.auncon.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役　(氏名) 信太　明
問合せ先責任者(役職名) 管理担当執行役員　(氏名) 中田　茂樹　TEL 03-5803-2727

四半期報告書提出予定日　平成25年10月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第1四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第1四半期	363	12.1	△6	―	△11	―	△6	―
25年5月期第1四半期	323	△5.5	△26	―	△32	―	△32	―

(注)包括利益　26年5月期第1四半期　△16百万円　(―%)　25年5月期第1四半期　△22百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第1四半期	△0.82	―
25年5月期第1四半期	△4.45	―

※平成24年12月1日付で株式分割を行いましたが、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年5月期第1四半期	883	676	76.6
25年5月期	905	690	76.2

(参考) 自己資本　26年5月期第1四半期　676百万円　25年5月期　690百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	―	0.00	―	0.00	0.00
26年5月期	―				
26年5月期(予想)		―	―	―	―

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
平成26年5月期の期末配当予想および合計については、現時点において未定であるため記載しておりません。

3. 平成26年 5月期の連結業績予想(平成25年 6月 1日～平成26年 5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,520	8.3	20	―	20	―	20	―	2.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 ―社 (社名) 、 除外 1社 (社名) AUN Korea Marketing, Inc.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年5月期1Q	7,502,800 株	25年5月期	7,242,800 株
② 期末自己株式数	26年5月期1Q	― 株	25年5月期	― 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年5月期1Q	7,416,133 株	25年5月期1Q	7,242,800 株

※平成24年12月1日付で株式分割を行いましたが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 8
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
(継続企業の前提に関する注記) …… 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) …… 9
(セグメント情報等) …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間（平成25年６月１日～平成25年８月31日）におけるわが国経済は、各種経済対策や金融政策の効果などを背景に、個人消費や企業収益及び企業の景況感の改善が見られ、緩やかな回復基調となりました。

一方で、欧州債務問題、新興国経済成長の減速は、景気の下振れリスクとして懸念を残しており、引き続き先行き不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループは業績の黒字化を最優先課題とし、当第１四半期連結累計期間においては、特に黒字化を実現し得る組織体制の強化に取り組んでまいりました。

まずSEOについては、複雑化する検索エンジンアルゴリズムの分析がその収益化の鍵となるため社内R&D組織を要員及び質の面で強化することに取り組みました。

マネージャー級の要員を社外から採用し、アルゴリズム動向に大きく左右されない本質的な施策開発の専任として組織体制を強化するとともに、海外法人で成功した分析ノウハウを言わば日本へ逆輸入して商品開発に反映させ、質の面でも改善してまいりました。

次に、PPC（リスティング広告）については、景況感回復の流れに伴い国内企業の出稿意欲はさらに高まっており、当社でもその広告予算を取り込み始めています。

このトレンドをさらに強いものとするべく、社内組織に人的リソース含め経営資源を集中投下し、今後の売上の伸長を実現する体制強化に取り組んでまいりました。

翻訳については、企業の海外展開意欲の高まり、翻訳業界では数少ない上場企業であること、環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）交渉の進展が、当社グループにとってはマクロ的に追い風の状況にあります。

これらマクロ環境にあっては、組織規模の拡大がさらなる売上の拡大につながるため、受注件数を増加させるべく営業担当を社外より採用し、また、その受注を品質とスピードの両面において高い次元でサービスとして実現させリピート受注につなげるべく、品質担当を社外より採用し、体制の強化を進めてまいりました。

海外法人においては、海外法人専任執行役員の指揮の下、収益化が先行し成功ノウハウを保有している法人の取り組みを他海外法人へ共有する取り組みを続けてまいりました。

この結果、海外法人全体の底上げが進みつつあり、さらに一段上のグループ売上及び利益への貢献を実現しております。

最後に、各部門の業績黒字化を実現し得る部門長人材の採用を積極的に進め、当期において要員配置が完了しました。

順次、当該人材が機能発揮しつつあり、また、実務領域においても中途採用が進んだことで利益を生み出す組織とその運営体制が整いつつあります。

当連結会計期間においては、こうした各部門の業績黒字化を実現し得る要員配置と組織体制強化のための先行投資を重点的に進めてまいりました。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は363百万円（前年同期比12.1％増）、営業損失は6百万円（前年同期は営業損失26百万円）、経常損失は11百万円（前年同期は経常損失32百万円）、四半期純損失は6百万円（前年同期は四半期純損失32百万円）となりました。

なお、セグメント別の状況については、当社グループはSEMを主としたマーケティング事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.7％減少し、782百万円となりました。これは、主に現金及び預金の減少によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて8.5％増加し、101百万円となりました。これは、主に有形固定資産の増加によるものであります。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて3.5％減少し、204百万円となりました。これは、主に買掛金の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて24.7％減少し、２百万円となりました。これは、主に繰延税金負債の減少によるものであります。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.0％減少し、676百万円となりました。これは、主に為替換算調整勘定の減少によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第１四半期連結累計期間に関しましては、概ね計画通りに推移しているため、平成25年7月11日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結子会社であったAUN Korea Marketing,Inc.は、株式譲渡に伴い、当第１四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年５月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年８月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	559,535	542,085
受取手形及び売掛金	238,729	225,881
仕掛品	743	331
その他	23,030	24,999
貸倒引当金	△9,658	△10,833
流動資産合計	812,380	782,465
固定資産		
有形固定資産		
建物	20,329	20,045
減価償却累計額	△9,977	△10,455
建物（純額）	10,351	9,589
工具、器具及び備品	44,325	52,640
減価償却累計額	△35,684	△37,149
工具、器具及び備品（純額）	8,640	15,490
有形固定資産合計	18,992	25,080
無形固定資産		
のれん	449	249
ソフトウエア	10,782	11,932
無形固定資産合計	11,232	12,181
投資その他の資産		
投資有価証券	28,151	29,697
敷金及び保証金	34,958	34,303
投資その他の資産合計	63,110	64,001
固定資産合計	93,334	101,263
資産合計	905,715	883,728
負債の部		
流動負債		
買掛金	135,553	125,050
未払費用	21,800	24,811
未払法人税等	1,748	561
前受金	20,340	21,126
その他	32,112	32,562
流動負債合計	211,554	204,112
固定負債		
リース債務	1,891	1,651
繰延税金負債	1,678	1,036
固定負債合計	3,569	2,687
負債合計	215,124	206,800

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年５月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年８月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	339,576	341,136
資本剰余金	470,576	471,876
利益剰余金	△139,437	△145,269
株主資本合計	670,714	667,742
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,031	1,871
為替換算調整勘定	16,845	7,314
その他の包括利益累計額合計	19,876	9,185
純資産合計	690,590	676,928
負債純資産合計	905,715	883,728

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年６月１日 至　平成24年８月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年６月１日 至　平成25年８月31日）
売上高	323,897	363,185
売上原価	232,240	270,805
売上総利益	91,657	92,380
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費合計	118,175	99,206
営業損失（△）	△26,518	△6,825
営業外収益		
受取利息	134	92
保険解約返戻金	2,353	－
解約手数料等	10	837
貸倒引当金戻入額	187	－
投資事業組合運用益	－	3,137
その他	157	126
営業外収益合計	2,842	4,194
営業外費用		
支払利息	44	29
投資事業組合運用損	1,359	－
為替差損	6,371	8,348
その他	658	8
営業外費用合計	8,434	8,386
経常損失（△）	△32,109	△11,017
特別利益		
関係会社株式売却益	－	5,088
特別利益合計	－	5,088
税金等調整前四半期純損失（△）	△32,109	△5,929
法人税、住民税及び事業税	144	145
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△32,254	△6,074
四半期純損失（△）	△32,254	△6,074

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年６月１日 至　平成24年８月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年６月１日 至　平成25年８月31日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△32,254	△6,074
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	296	△1,159
為替換算調整勘定	9,538	△9,531
その他の包括利益合計	9,834	△10,690
四半期包括利益	△22,419	△16,764
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△22,419	△16,764

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、SEMを主としたマーケティング事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略してしております。